

<b>【技術の名称】</b> パーフェクトプレス工法 ー凹型翼付補強材を用いた地盤補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 22-08 号 性能証明発効日：2022 年 7 月 6 日 性能証明の有効期限：2025 年 7 月末日 <b>【取得者】</b> 合同会社ユニオンフォーラム、 株式会社シグマベース、有限会社サポートホールド、 株式会社福田テクノ、株式会社出雲採石、 株式会社宮崎、株式会社明建、美和産業株式会社、 アル、株式会社加藤急便
--	---

**【技術の概要】**

本技術は、鋼管に切り込み加工した凹型鋼板を取り付けた先端翼付き鋼管（以下、“補強材”と称す）の支持力と基礎底面下地盤の支持力を複合させることで、支持能力の増大を図った地盤補強工法である。

なお、本技術における補強材には、2020 年 12 月 15 日に(一財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 GBRC 性能証明 第 15-17 号改 2 として性能証明されたハットウイング工法を用いることとしている。

**【技術開発の趣旨】**

本技術は、先端翼径を 300mm～500mm とすることで補強地盤の設計に自由度を確保するとともに、鋼管をφ101.6mm に限定することで先行掘削装置なしに補強材を所定の深度まで貫入させることが可能となり施工性も向上させている。また、補強材に加えて、基礎底面下地盤の支持力を評価することで、補強材の支持力のみで建物荷重を支えるとする場合に較べて、補強材の数量や長さの低減が可能となり、経済的な基礎の設計が可能となる。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下のとおりである。

申込者が提案する「パーフェクトプレス工法設計・製造・施工基準」に従って施工された補強地盤の長期許容支持力度を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力度は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。

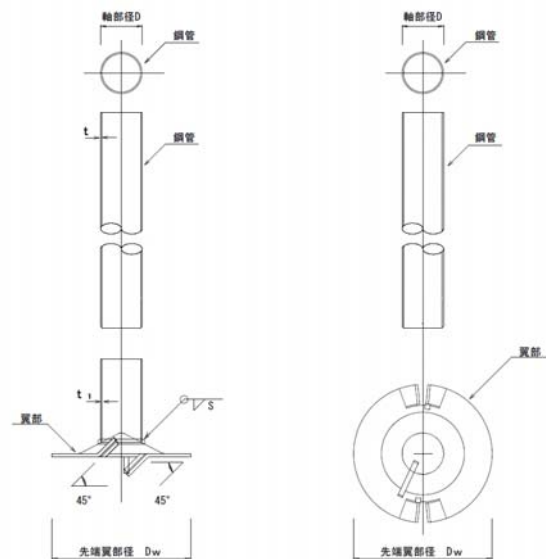


図 1 補強材の構成図

**【本技術の問合せ先】**

株式会社シグマベース 担当者：榎本 隆彦  
〒130-0025 東京都墨田区千歳 1-8-17 3F

E-mail：info@sigmab.co.jp  
TEL：03-3846-8294 FAX：03-3846-8296